ほけんだより　2月号

認定こども園大塚
看護師　島田

１月は、暖冬の影響からか、インフルエンザや感染性胃腸炎等、感染症が流行することなく過ごせました。２月４日は、暦の上では立春で春を迎えますが、まだ気温が低く乾燥した日が続きます。手洗い・うがい室内の換気に努め、天気のいい日は園庭で元気いっぱい遊びましょう。２月３日は節分です。「鬼は外！」「福は内！」豆をたくさんまいて、鬼をやっつけましょう。

最近、当園で子供たちがかかっている病気について、病状や注意点をお知らせします。

かぜからくる急性中耳炎に注意

かぜをひいた後、気をつけたいのが「急性中耳炎」。鼻水が耳管（鼻と耳をつなぐ管）を通って耳に流れ込み、炎症を起こします。子どもは耳管が短くて太いため、急性中耳炎になりやすいのです。

症状

- 高熱
- 激しい耳の痛み
- 一時的な難聴、閉そく感

予防

- 鼻水はこまめにとる
- はなは強くかまない。片方ずつ、やさしくかむ

繰り返しやすく、滲出性中耳炎に移行しやすいので、きちんと治すことが大切

高熱に注意！ 溶連菌感染症

突然高熱の出る、非常に感染力の強い病気です。下記の症状が見られたら、早めに受診しましょう。

症状

- 突然高熱が出て、のどがはれて痛みが出る
- 全身に発しんが出る
- 舌にイチゴ状の赤いぶつぶつが出る
- おう吐、頭痛が起こる

注意⚠ 症状が落ち着いたからと薬をやめると、腎炎などになる危険が。医師の指示どおり最後まで飲みましょう。

注意⚠ 抗菌薬を飲んでから24～48時間は登園停止です。

１月の感染症情報

インフルエンザ	２名
手足口病	10 名
溶連菌感染症	２名
突発性発疹	１名
感染性胃腸炎	２名

県内では、感染性胃腸炎が少しずつ増えています。冬の感染性胃腸炎の主な原因は、ロタウイルス・ノロウイルスで、感染すると下痢や突然の嘔吐・腹痛等の症状が出ます。　当園では、現在、乳児部で手足口病が増えてきてます。乳幼児の間で流行するウイルス性の夏風邪の一種で、飛沫感染します。手足や口の中に水疱や赤い発疹が出るのが特徴で、膝やお尻に出ることもあります。解熱し食事がとれ、機嫌がよくなれば、医師の指示があれば登園可能です。保護者記載の登園許可証が必要です。